

仮訳

2023 年 10 月 26 日

タイ原子力庁（OAP）、日本の輸入水産物から放射性物質検出せずと発表

タイ高等教育科学研究イノベーション省（MHESI）傘下の原子力庁（OAP）は、日本からの輸入水産物を検査した結果、基準値を超える放射性物質は検出されていないと発表した。国民の安全保護のため、引き続き監視を継続する。

2011 年に東京電力株式会社（TEPCO）の福島第一原子力発電所で事故が発生し、その後日本は 2023 年 8 月 24 日と 2023 年 10 月 5 日の 2 回、処理済みの放射能汚染水の海洋放出を実施したことを受け、環境への影響および日本からの水産物消費による影響に対する不安の声があったことから、

OAP は、水産局水産検疫・漁船検査課（Fish Quarantine and Fishing Vessel Inspection Division）および食品医薬品委員会事務局食品医薬品検査部（Import and Export Inspection Division）から、日本からの輸入水産物のサンプルを受け取り、放射性物質検査をした。現在までにエビ、魚、イカ、貝類、カニ、海藻類などの 111 件のサンプルの検査を行った。また、日本から輸入食材を使用している在バンコク日本食レストランの日本米、寿司、すき焼きタレ、イクラなどの 30 件のサンプルの放射性物質検査を行った。ガンマ線分光計を用いて、10,000 秒間かけてセシウム 134（Cs-134）およびセシウム 137（Cs-137）を検査した。

すべてのサンプルを検査した結果、放射性物質は検出されていない。国民は OAP の監視策を信頼および安心してほしい。OAP は国内外からの情報を徹底的に収集している。国民は 24 時間 OAP のウェブサイト [www.oap.go.th](http://www.oap.go.th) で情報を確認することができる。

情報提供：タイ原子力庁（OAP）

お問い合わせ：タイ原子力庁 安全規制基準システム開発管理支援局 安全開発グループ 放射線測定グループ

電話番号：02-596-7600（4304 または 4403）

※編者注：原典には検査の様子の写真あり。

**【免責条項】**

この日本語訳は、タイ政府による公式日本語訳ではなく、情報提供を目的に、ジェトロバンコク事務所が作成した非公式なものです。正確性を保証するものではありませんので、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

原典については、下記をご覧ください。本 URL は 2023 年 10 月 26 日時点で有効であることを確認しておりますが、今後 URL が変更・削除される可能性もございます。

（ウェブページ）

<https://www.mhesi.go.th/index.php/news-and-announce-all/news-all/pr-news/9637-2023-10-26-04-33-21.html>